



島教協

《すべては「子どもたちのために」》
情報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 曾田史郎 No.660

二十六年度 島教協新役員でスタート

役名	役員氏名	地区	所属
会長	吉田 修	全県	神西小
副会長	佐野 美保	全県	神戸川小
副会長	奥井 克己	全県	出雲一中
副会長	勝部 功人	全県	加茂小
事務局長	曾田 史郎	全県	専 従
事務局次長	田中 勝	全県	出東小
執行委員	坂本みどり	全県	光 中
執行委員	平川 美紀	全県	中央幼
執行委員	伊藤 雅美	松江	乃木小
執行委員	蔵 三喜男	出雲	湖陵小
執行委員	森山由美子	出雲	高松小
執行委員	白根 誠治	出雲	神戸川小
執行委員	高塚 淳	出雲	四絡小
執行委員	別所 祐司	出雲	平田中
執行委員	高橋 勇二	出雲	莊原小
執行委員	山本 典男	雲南	鍋山小
監査委員	藤江 淑子	全県	高松小
監査委員	久保田奈巳	全県	平田小

平成二十六年度島教協役員選挙が行われ、左記全員の役員が信任されました。
役員、各支部委員長ともども、島教協の充実発展のために、力を合わせてがんばってまいります。会員の皆様の一層のご理解・ご協力をお願い致します。

【総会のご案内】
島教協 第五十四回 定期総会
五月二十五日(日) 午前九時三十分より
ビッグハート出雲 茶のスタジオにて

総会は、代議員制となっており、各支部から選出された代議員をもって構成されます。支部は、松江、出雲、雲南です。また、代議員以外の会員は、オブザーバーとして参加ができます。

今回の総会では、今後の島教協の運営について、方向性のある程度決めることとなります。ぜひご参加ください。

**新規加入促進
キャンペーン**

新規加入の方、特典として、今年度末まで会費を33%割引するキャンペーンを行っています。
この機会に一人でも入会されますよう、未加入の方への声かけをお願いします。
目標は三十人。八月までに達成できるよう会員の皆さんで力を合わせましょう！

松江支部総会を開催します！

今年度、組織拡大・充実のための新たな取組として、松江支部の総会を開催します。

松江安来方面の会員の皆様にお集まりいただき、組織活動や組織拡大について改めて考えていただく機会になれば、と思います。
式典後の教育講演会も含めて、一時間程度の集まりです。未加入の方も誘っていただいてもよろしいです。ぜひご都合をつけてご出席ください。
後日、改めて出席依頼の文書を送ります。

【松江支部総会のご案内】

島教協 松江地区総会

六月十四日(土) 午前十時より
いきいきプラザ島根 四〇三研修室にて

※式典後、教育講演会を行います。
詳細は裏面をご覧ください。

なお、この総会講演会の開催にあたっては、事務局だけでなく、松江方面の若い先生も必死に準備を進めています。

総会・講演会にたくさんの方が出席されること、準備してくださる先生の労をねぎらうことにもなります。今後、出雲の会員で都合のつく方にも出席をお願いしていきますが、盛会となりますよう、松江・安来方面の会員の皆さんのお力添えをお願いいたします。

教育講演会のご案内

今年度の教育講演会は、学力向上をテーマに、出雲と松江で開催します。講演講師は、中塩秀樹 なかしおひでき(先生)です。

中塩先生は、昨年度まで広島県の呉市立昭和北中学校で校長として勤務された後、この四月より松江市の開星中・高等学校にて勤務されています。著書「30+2分、夢がかなう勉強法」は、多数のメディアや教育関係者にも取り上げられています。

本書によれば、脳の働きは、二十四時間一定ではなく、それを理解した上で勉強することが大切とのこと。よく眠って、よく休んで、学力が伸びる勉強法について、最先端の脳科学や先生の3年間の実践も交えながらお話をさせていただきます。

また、中塩先生は広島県で道徳教育の推進にも尽力された方でもあります。私も何度かお話をさせていただきましたが、とにかく話題が豊富な方ですので、単なる勉強法の話にとどまらず、幅広い話が期待できます。

今回の講演会、出教協定期総会・松江支部総会の後、引き続き行いますが、会員登録でない方に鳥教協のよさを知ってもらう機会だと考えています。ぜひ、職場の皆さんもお誘い合わせの上、ご来場ください。

申し込みや問い合わせは、鳥教協事務局へ。



中塩 秀樹先生

講演 30+2分で、夢がかなう勉強法

出雲会場 五月三十一日(土) 十時三十分より

ビッグハート出雲 茶のスタジオ

松江会場 六月十四日(土) 十時三十分より

ビッグハート出雲 茶のスタジオ

出教協 第一回代表者会

五月九日(金)、出雲市教職員協議会(執行委員長 藤三喜男)は、出雲市内において第一回代表者会を開催しました。

四月の執行委員会で協議した今年度の活動方針や予算案などについて、出雲市内の各学校・園代表に説明を行い、定期総会への出席を呼びかけました。

定期総会では、来賓として、佐々木雄三県会議員、出雲市教育委員会打田教育部長にご臨席いただく予定です。

出教協 定期総会

五月三十一日(土) 午前九時三十分より
ビッグハート出雲 茶のスタジオにて



あいさつをする藤執行委員長

▼三月末の出来事ですが、鳥教協事務局(出雲一中内)に県教委の鴨木教育次長さんが挨拶回りにいらっしゃいました。わざわざ松江から教育次長さんが・というのには、主事の竹下さんも「記憶のない」ほどの異例のことです。▼この際、教育次長さんから「今回、三十五人学級予算獲得のためにはかなり財政局とやりあった。当局の反発が激しくて、こちら(県教委)も挫けそうになったが、県教委交渉での鳥教協の先生方の力が力になった。特に、特別な支援を必要とする子どもさんの将来を案じる先生の話が、当局を説得する突破口になった。」と話がありました。▼これを聞き、改めて私たちの組織の存在意義や必要性を感じましたし、選挙を行い、団体登録を行っている職員団体の強さを感じました。▼県教委・市教委に改善を求めることだけでなく、行政と現場が同じ方向を向いていることに後押しができることも職員団体だからこそできることです。▼教育次長さんの話には続きがあり、「これは第一歩でしかない。」としきりに繰り返されています。来年度、再来年度の予算が確約されていないからです。財政難を理由に、三十五人学級推進が中途半端な状態で延期・頓挫してしまつては大変なことになります。▼私たちは良識ある職員団体として、これからも現場の声を行政に届け続けなくてはなりません。子どもたちによりよい教育環境を提供することが、私たち教職員にとつても教育に専念できる職場となると考えるからです。(し)